

沖縄総合事務局

1 農畜産物の最新の生産状況

(1) 台風と干ばつの影響でさとうきびは収量減少見込み

- 最大瞬間風速59m（石垣島）を記録した台風7号（7月12日）が、宮古・八重山地域を通過し、さとうきびの梢頭部の折損や収穫前のマンゴーが落果する被害等があった。なお、台風12号（8月21日）、15号（8月29日）、17号（9月2日）については、被害は特にない状況。
- 梅雨明け（6月14日）以降、全県的に少雨傾向にあり、7月の那覇、久米島、南大東島は観測史上最低の降水量（那覇4.5mm、久米島0mm、南大東島2.5mm）となった。8月中旬からは多くの地域で一定の降雨はあったが、一部の離島では少雨傾向が続いており、現状では、さとうきびの収量は、平年（79万4千t）を下回る見込み。



【干ばつの被害が出ているさとうきび(南大東村)】



【出荷前のマンゴー園(豊見城市)】

(2) マンゴーの収穫量は平年並み

平成25年産マンゴーは、比較的天候に恵まれ、順調に生育した。地域別には、沖縄本島は昨年の台風被害による樹勢回復の遅れにより8割程度に留まるものの、宮古・八重山地方は平年の1.6倍程度と前年を上回り、台風被害はあったものの県全体では平年並みの1,566tの収穫量となる見込み。

2 攻めの農林水産業の展開に関する最新の動き

(1) 八重山の新たな玄関口・新石垣空港にジェラートスタンドを開店

6次産業化の認定事業者である農業生産法人（有）伊盛牧場は自社牧場で生産した牛乳とこれを原料に使ったジェラートを製造し、自社敷地内の店舗で販売。伊盛牧場は、更なる販売の拡大を目指すため、平成25年3月に開港した新石垣空港に新たに「ミルミル本舗石垣空港店」を開店し、法人の売上は3.5倍に増加。



【空港店の様子】

(2) えん沖縄がごーや一茶を開発し輸出を展開

香港を中心に沖縄料理店を展開し、沖縄県産農林水産物の輸出も手がけている（株）えん沖縄は、生産者等と連携して「ごーや一茶」を開発し、8月から沖縄ファミリーマートにて販売。ごーや一茶は、現在マカオでも販売を開始しており、今後、香港や上海等でもコンビニエンスストアを中心に販売予定。



【販売を開始したごーや一茶】

【沖縄の農業・農村に関する指標】

- ・さとうきびの生産量 【67.6万t】
（平成24年産）
- ・人・農地プラン作成率 【89%】
（平成25年8月末現在）
- ・6次産業化の認定事業者数 【44件】